

公益社団法人 地盤工学会

第 1 回 会員・支部部会

議事録

平成 26 年度

日 時：平成 26 年 9 月 18 日 (木) 15:00~17:30		会 場：地盤工学会 3 階会議室	
理 事 会 員・支 部 部 長 鈴 木 誠 ○			
理 事 佐 藤 研 一 (会 員・支 部 担 当)	○	理 事 和 田 里 絵 (男 女 共 同 参 画・ダ イ ナ ミ ュ イ (委) 委 員 長)	×
部 員 規 矩 大 義 (継 続 教 育 シ ス テ ム 委 員 会 委 員 長)	×	部 員 須 賀 幸 一 (支 部 活 動 情 報 の 収 集 配 信 W G リ ー ダ ー)	×
部 員 石 井 裕 泰 (学 会 B C P 検 討 W G リ ー ダ ー)	×	部 員 渦 岡 良 介 (会 員 デ ー タ ベ ー ス 管 理 シ ス テ ム 改 善 W G リ ー ダ ー)	×
部 員 原 田 克 之 (会 員 デ ー タ ベ ー ス 管 理 シ ス テ ム 改 善 W G サ ブ リ ー ダ ー)	○	部 員 渡 邊 康 司 (技 術 普 及 委 員 会 委 員 長)	○
事 務 局：伊 佐 治 ○			

◎本日の議事録作成担当者（伊佐治事務職員）

議 題：

・平成 26 年度の構成について検討され、渦岡部員を除く全員に部員を継続していただけるよう依頼することとなった。

1. 前回議事録の確認（2014 年 7 月 4 日開催） 資料－1 pp. 1～ 3
 - ・承認された。
2. 理事会報告（2014 年 7 月 24 日開催） 資料－2 pp. 4～ 8
 - ・鈴木部長より報告された。
3. 平成 27 年度事業方針・事業計画，予算 資料－3 pp. 9～ 15
 - ・各委員会への周知、分担、スケジュール

鈴木部長および事務局より説明され、以下のスケジュールにより進めることとなった。

 - (1)原案作成。締切：10/6
 - ・関連委員会における H27 年度事業方針・事業計画の作成：関連委員会，WG
 - ・部会及び関連委員会の会議費用の試算：事務局
 - ・講習会にかかる予算の積算：渡邊委員長
 - ・関連委員会におけるその他の活動予定とそれに伴う費用の試算：関連委員会，WG
 - (2) 事務局にて、上記の集計後に部会審議
 - (3) 事業方針・事業計画，一次予算案の提出。締切：10/27

4. 所管委員会関連

1) 地盤品質判定士 資料－4 p. 16

- ・中村理事より、判定士協議会に関係する最近の動向について報告され、以下のような意見交換がされた。
 - (1) 外部において、資格付与に際しての講習会の活用が検討されているところがあるとの報告があった。当学会は中立機関として講習会の実施であれば、協力は惜しまない。また、そのような活動により、学会の認知度が上がり、外部機関の資格付与に学会の講習会を利用されることは望ましい。
 - (2) 判定士に関する講習会実施に際してのテキストの発行に関して、協議会では学会に発行委託するように内部の調整を進められている。この協議会側の検討状況について、10/2 開催の打合せにおいて「発行元の件」、「発行

形態の件]、「発行時期の件」について検討をすることになっていると中村理事より回答された。

- (3) 本年度実施した判定士受験のための講習会については、次年度も実施可能で、上記(2)のテキストが間に合えばよいが、間に合わなくても書き下ろしテキストのような形式で資料を蓄積することは、将来のテキスト発行に役立つ。
- (4) 最近の災害に関する問い合わせ等が協議会に寄せられているとの報告がある。技術者と合わせて一般の方も具体的な情報等を欲しているということなので、技術者向けだけではなく市民向けの報告も実施できるようにしてはどうか、との意見が出された。
- (5) (4)について、災害直後では、支部は現地対応に追われているので、本部で企画立案、準備等をフォローすべきであるとの意見が出された。

2) 技術普及委員会

資料ー 5 pp.17～ 30

- ・一般講習会の開催 (11月, 12月開催)

「杭基礎のトラブルとその対策講習会(12/18開催)」、「グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説講習会(11/19開催)」の2企画について開催概要が決まったことが報告され、承認された。

- ・シニア講習会の進捗

- (1) 講師公募に対して6件の応募があり、そのうちすぐに開催が可能と思われる3件について、開催概要案が示され、承認された。今後は講師候補に連絡し、開催日等を決定し、実施に向けた準備をすることとなった。
- (2) 「技術の伝承講習会」については、継続実施として企画しており、できる限り映像を残すべきでは、との意見があり、予算の検討や講師との調整を行なったうえで前向きに進めることとした。

3) 男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

資料ー 6 pp.31～ 37

- ・地盤女子企画についての報告

事務局より資料を基に報告された。

- ・会誌ダイバーシティ小特集についての報告と依頼

事務局より資料を基に報告された。

- ・ダイバーシティ活動に関する本部ー支部の情報共有についての提案

(1) 事務局より資料を基に説明され、また、支部においても適切な情報発信ができる広報体制の整備が求められているとの意見もあり、提案の「本部・支部のダイバーシティに関する取組みを情報共有するためのポータルサイトの作成」について前向きに検討する。なお、本件は当部・支部活動情報の収集配信 WG にて検討を行う。

(2) 広報委員会との調整は必要なので、検討後に相談を実施する。

→支部活動情報の収集配信 WG に検討依頼

4) 継続教育システム委員会

5) 会員データベース管理システム改善 WG

6) 支部活動情報の収集配信 WG

資料ー 7 pp.38～ 47

- (1) 平成25年度に実施した学生会員アンケートの調査結果について報告された。
- (2) 平成26年度は、『会員継続のメリット』に関するパンフレットを作成・同封し、会員継続を促すようにする。
- (3) 同資料は、部員全員で作成する。
- (4) その他、HPの改善についての意見交換があり、支部においても本部FBを更新できることを検討していたできるよう広報委員会に申し入れる。

7) 学会BCP検討WG

WG活動については、次回に現状の報告と、今後の作業について報告いただけるよう伝える。

5. 会員処理

1) 会費滞納者への対応について

資料ー 8 pp.48～ 50

- (1) 事務局より資料の説明がされた。
- (2) 会費請求に関して、平成27年度より以下方向性で進める。

①会費請求は、例年4月より送付していたものを初回1月(前年度)、2回目を4月、3回目を7月の送付へ変更する。

※請求を前倒しにすることで、年度中の会費回収率を上げる。

※1月に請求をすることで、年度替わりにおける異動、会員種別の変更等の申請を会員に周知し、早めの対応が期待できる。

②除籍の扱いを、現在の『会費未納1年をもって』という条件を『当年度の9月までに未納の方』という条件に変更する。これは、定款に書かれているので総会での審議が必要となる。

※現在の年3回請求においても会費を納入いただけない方が多く(総会員の5%程度)そのまま除籍になる。そのような方に学会誌を送付する費用を削減できれば良い。

※この中には、復会される方もいるが、通常の会誌発送に比べ別送は非常に高い(10倍以上、作業費込)ので、除籍期間中の会誌は発送しないことを提案する。

(3) 上記について、次回理事会にて予備審議として提案し、意見を求めることとする。内諾が得られれば、平成27年度から実施できるよう手配を進める。

6. 事業企画賞の選定(平成25年度事業対象,平成27年度表彰分)

資料-9 pp.51~56

事務局より、資料をもとに説明され、各部へ依頼することが承認された。

→各部、支部へ配信

7. 新入会,ダイバーシティ制度申請

資料-10 pp.57~63

事務局より、資料をもとに申請を受けた新入会者およびダイバーシティ制度利用希望者が紹介され、承認された。

8. 表彰委員会からの問い合わせ

資料-11 pp.64~69

1) 特別会員表彰の変更に伴う不平等

事務局より、資料をもとに状況が説明され、意見交換がなされた。結論としては、規定内容を変更する時点で勘案すべき内容であり、現時点では致し方ないとして、ご容赦していただくべきである。その旨、表彰委員会に報告することとなった。

9. 次回以降の部会等開催日程

次回は、12月11日(木) 15時から開催することとなった。

10. 理事会への上申事項等

[9月26日開催理事会] への上申事項

・審議事項

1. 新規入会希望者(平成26年9月1日入会) [別紙あり]

2. ダイバーシティ促進のための会費減免申込者(H26.9) [別紙あり]

・予備審議

1. 会費請求・会員管理業務にかかる提案 [別紙あり]

・報告事項

1. 平成26年度所管委員会の構成 [別紙あり]

1) 技術普及委員会

2) 男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

2. 地盤品質判定士協議会の最近の動き [別紙あり]

3. 学生会員アンケート集計結果 [別紙あり]

4. 平成25年度未除籍者への慰留方策 [別紙あり]

・特別会員 1団体、個人会員 230名へ会員継続のお願いを発送済(9月9日)。

5. 技術講習会の開催

1) 一般講習会 2件

2) 技術の伝承講習会 3件

[表彰委員会への連絡]

・特別会員表彰に関する問い合わせの回答

[総務部への連絡]

・平成27年度事業方針・事業計画, 予算の提出 (期限: 10/27)

以上